

小規模企業景気動向調査

[平成22年6月期調査]

～持ち直し基調に一服感、一部業種で減速感が見られる小規模企業景況～

2010年8月4日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2010年6月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…持ち直し基調に、一服感が見られる。…◇

6月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は、▲40.2と前月調査に比べ0.6pt減少という結果となった。ここ最近製造業を中心に続いていたアジア等海外需要影響による改善に一服感が出た模様、事業者からも「ここにきて、受注に減速感が出ている」(金属加工業)との声も聞かれており、地方の小規模企業からは、十分な景気回復が実感できず、先行きについても不透明感が出ていることを不安視する声は大きい。

<製造業> ◇…原材料価格の上昇と取引条件の悪化が指摘される製造業…◇

製造業DIは、海外需要拡大の恩恵を受ける自動車部品、建設機械、半導体関連等の業種から好調との声が聞かれているが、「受注の増加傾向は続いているが、単価が厳しい状況が続いている」(自動車製造業)と、採算の悪化傾向も続いているとの指摘がある。また原材料価格の上昇を伝える声も多く、「取引条件の悪化が続く中、価格転嫁できずにいる。」(金属加工業)との声もあり、今後の先行きを不安視する声は、依然として根強い。

<建設業> ◇…需要不足に苦しむ建設業…◇

建設業DIは、▲54.9と前月調査に比べて2.2ptの悪化を示している。「公共事業が減少している中、民間からの受注も期待できない。」と需要の不足を指摘する声が最も大きい。また「政治情勢を見ていると公共事業の持ち直しを期待するのは難しく、業況の改善は望めそうにない。」との声も聞かれる。住宅版エコポイントに続く、需要創出策を求める声は、非常に大きい。

<小売業> ◇…大手量販店との価格競争が続く小売業…◇

薄型テレビ等耐久消費財の売り上げは家電エコポイントの政策効果により堅調が続いている、一部の地域からは、夏物衣料が比較的好調との声も聞かれている。しかし、大部分の地域からは「郊外型大手量販店との価格競争が激しく、非常に厳しい状況が続いている。」と大手資本との価格競争の激化を伝える声と顧客の低価格志向化を伝える声が大きく、スケールメリットを活かしにくい小規模企業にとって、一段と厳しさを増す状況となっている。

<サービス業> ◇…依然として、顧客の消費手控えが続くサービス業…◇

サービス業DIでは、運送業等において、比較的堅調を伝える声があるものの、顧客の消費手控え傾向は依然強く、多くの業種からは、厳しい声が聞かれている。特にスナック等の飲食業からは「地域にお金が回らず、売上が危機的な状況となっている。」との声が聞かれている。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	5月	6月	前月比	5月	6月	前月比	5月	6月	前月比
売上額	▲38.7	▲39.1	▲0.4	▲19.4	▲20.1	▲0.7	▲49.7	▲51.2	▲1.5
採算	▲38.3	▲38.5	▲0.2	▲24.6	▲26.1	▲1.5	▲49.7	▲51.4	▲1.7
資金繰り	▲35.1	▲34.8	0.3	▲22.6	▲22.4	0.2	▲47.0	▲50.4	▲3.4
業況	▲39.6	▲40.2	▲0.6	▲21.4	▲23.1	▲1.7	▲52.7	▲54.9	▲2.2

業種	小売業			サービス業		
	5月	6月	前月比	5月	6月	前月比
売上額	▲41.9	▲40.8	1.1	▲44.1	▲44.6	▲0.5
採算	▲42.4	▲41.9	0.5	▲36.6	▲38.2	▲1.6
資金繰り	▲38.3	▲39.3	▲1.0	▲32.6	▲33.6	▲1.0
業況	▲45.9	▲45.2	0.7	▲38.6	▲39.7	▲1.1

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

全国商工会連合会 市場開拓支援課

〒1050004 東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル 8F TEL:03-3503-1256 FAX:03-3580-6577 担当:森田 修造